



NPO 特定非営利活動法人

埼玉森林サポータークラブ

コミュニケーション・ニュース

【令和7年1月1日 発行（季刊） VOL. 100】

コミュニケーション・ニュース100号記念

埼玉森林サポータークラブは平成8年（1997年）に彩の国森林サポータークラブとして発足し、平成14年（2002年）に現在の名称となりました。平成11年10月5日にコミュニケーション・ニュース第1号を発行しました。

100号発行記念としてニュースの巻頭を飾った10大トピックスを写真とキャッチフレーズで紹介し、改めてクラブの歴史を振り返ります。

- 創刊号 平成11年（1999年）10月5日発行
- VOL. 10 平成14年（2002年）2月27日発行



森林サポーター活動!!
神泉村70名が下草刈り



平成13年12月16日（日）特定非営利活動法人（NPO）
設立総会開く！

- VOL. 37 平成20年（2008年）12月26日発行「サポータークラブの新たな森づくりを始めます」



越生町
龍ヶ谷



長瀬町
宝登山

- VOL. 39 平成21年（2009年）6月26日 「第二回本多静六賞受賞」北村会長の宣言



「やります！埼玉の
森林（もり）づく
り」北村会長大き
な声で宣言

■VOL. 40 平成21年（2009年）9月25日発行
「平成21年度 環境保全功労者等環境大臣賞」



緑の森活動チームが受賞しました。

■VOL. 42 平成22年（2010年）3月12日発行
「本多静六博士の森づくり」



県民参加で新たな森づくり

■VOL. 44 平成22年（2010年）10月1日発行
「森林づくり教育支援事業を実施します」



越生町龍ヶ谷地区で植樹を行なう梅園小生徒

■VOL. 62 平成27年（2015年）4月1日発行
「クラブ主催 春の植樹祭を行ないます」



小川町上古寺地区で行なわれた植樹祭

■VOL. 76 平成30年（2018年）10月1日発行
「東日本大震災復興支援への日遊協の取
り組み」



仙台市若葉区荒浜で行なわれた海岸防災林植樹

■VOL. 84 令和2年（2020年）10月1日
「新型コロナウイルス渦におけるクラブ
の対応」



活動の際の朝礼は左右の人から5m離れて行なわれた。又、活動の際はフェイスシールドを付けて作業を行なった

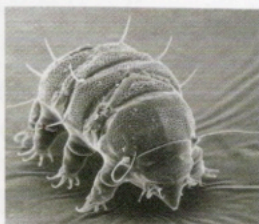
活動記録 (2024年9月・10月・11月)

月 日	曜日	フィールド	内容	参加数
9月1日	日曜日	カタクリの里	下草刈り	7
9月7日	土曜日	宝登山の森	下草刈り	10
9月8日	日曜日	越生ふれあいの里山	間伐・除伐	14
9月14日	土曜日	寄居風布の森	間伐	10
9月15日	日曜日	くるみ小屋	下草刈り	7
9月15日	日曜日	高谷の森	下草刈り	8
9月18日	水曜日	桶川市加納屋敷林	林内整理(小活動)	6
9月21日	土曜日	笠幡の森	笹刈り・倒木整理	11
9月22日	日曜日	緑の森博物館	下草刈り	中止
9月26日	木曜日	桶川市加納屋敷林	倒木処理	3
9月29日	日曜日	鴻巣・赤城屋敷林	下草刈り	12
10月5日	土曜日	寄居風布の森	間伐	中止
10月6日	日曜日	ときがわの森	伐木研修・間伐	中止
10月12日	土曜日	笠幡の森	笹刈り・倒木整理	15
10月13日	日曜日	越生ふれあいの里山	間伐・除伐	14
10月19日	土曜日	越生ふれあいの里山	オークネット活動支援	16
10月20日	日曜日	くるみ小屋	下草刈り	10
10月26日	土曜日	桶川市加納屋敷林	林内整理	15
10月27日	日曜日	緑の森博物館	間伐・除伐	11
11月3日	日曜日	ときがわの森	枝打ち・間伐	中止
11月4日	土曜日	寄居風布の森	間伐	11
11月9日	土曜日	鷹ノ巣の森	枝打ち・除伐	8
11月10日	日曜日	越生ふれあいの里山	間伐・除伐	15
11月14日	水曜日	越生町無名戦士の墓公園	梅園小活動支援下見	6
11月16日	土曜日	笠幡の森	笹刈り・倒木整理	10
11月16日	土曜日	熊谷ドーム付近	食と農林業ドリームフェスタ	8
11月17日	日曜日	熊谷ドーム付近	食と農林業ドリームフェスタ	10
11月17日	日曜日	龍ヶ谷の森	下草刈り	中止
11月23日	土曜日	浄国寺の森	林内整理	11
11月24日	日曜日	くるみ小屋	除伐	中止
11月24日	日曜日	緑の森博物館	下草刈り	9
11月26日	火曜日	越生町無名戦士の墓公園	梅園小活動支援(つる切・除伐)	11
11月27日	水曜日	高谷の森	除伐(小活動)	8
11月30日	土曜日	寄居風布の森	間伐	10

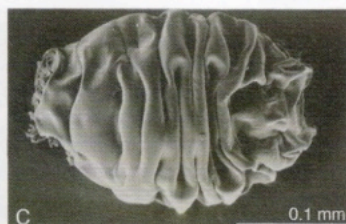
自然のたより(68)クマムシ

「クマムシ」聞いたことはありますか。熊さんにつく虫ではありません。「地上最強の生物」と言われ話題になりました。写真1.がその姿で、動く姿が熊に似ていることからの命名だそうです。大きさは0.5~1mmほど、虫ではなく緩歩(かんぽ)動物門に属する仲間です。クマムシは周りが乾燥してくると写真2.のような乾眠(かんみん)という状態になり“クマムシ樽”とよばれます。この“樽”が実は最強の生き物なのです。絶対0℃近くでも、X線照射でも、6000気圧近い高圧でも生き返ったという驚異的な耐久性を持つのです。

さてこのようなクマムシに興味をもった我が家の自然好きの夫が、庭に生えていたギンゴケの中から「クマムシを見つける!」と頑張って撮ったのが写真3.です。プロの撮った電子顕微鏡写真には及びもつかないですが、顕微鏡の視野で動いているのは可愛いものです。クマムシは水分のある所ならどこにでもいるようで、ただあまりに小さいので目視では見つかりません。水分がなくなると乾燥し、驚異的な生命力をもつに至り、何十年も生きるそうです。ただ、普通の状態ではほかの動物と同じで強くはありません。興味のある方はインターネットや「岩波科学ライブラリー122 クマムシ 鈴木 忠 著」をご覧ください。写真1, 2はこの著作から引用させていただきました。
〈No. 647 賀登 環 川越市〉



クマムシ



クマムシ樽



乾眠

■10月19日(土)「オークネットの活動」

オンラインオークションなどのサービスを中心とした循環型流通事業を幅広く展開する一部上場会社である同社は、2005年以来、自然環境保全活動の一環として「地球温暖化防止と花粉の少ない森づくり」を越生の「オークネットの森」で行っています。また、「国土緑化推進機構」にも募金を継続しております。従来春の活動のみでしたが昨年春と秋の年二回の活動となりました。今年も5月に続く秋の間伐体験活動がオークネット側37名、クラブ員22名で行われました。クラブ員の手際のよい準備と参加者のチームワークの良い行動で、スケジュール通り事故も無く第28回目の活動を終えることができました。〈No.668 霜触 賢 川越市〉



■10月26日(土) 桶川市加納屋敷林

活動は16名が4班に分かれ、1班が竹の除伐、他が下草刈りやフェンスの蔦除去でした。自分は竹班でしたが、直径20センチ近い竹もあり、手ノコで切るのも結構重労働でした。それでも各班とも予定の作業は完了し、森全体が見通し良く歩きやすくなりました。ここの活動は19年になるそうです。お昼は地主さんご夫婦が豚汁や焼豚、漬物など手作りの御馳走を振舞ってくれました。世話役の古川さんの肉詰めピーマンもありました。食べきれない程あって、しかも野菜や果物、お菓子の手土産までいただきました。地主さんもまじえて親戚のような和やかな雰囲気、信頼を築いてきた世話役さんや先輩方に感謝です。また参加したいです。〈No. 834 伊藤新治 さいたま市〉



■11月9日(土) 小川町「鷹ノ巣の森」での活動

朝は冷え込んだものの、快晴で風も穏やかな気持ちの良い日。まず全員で、南側入り口から活動地までのアプローチ道に進出した竹と篠刈り。竹は冬を経えていないので軟らかくて切りやすく、1時間ほどで道の整備は完了しました。その後動力班は活動地の篠刈り。私は手作業で、山上の隣地際に顔を出している竹を刈って進出を抑える作業。細い真竹は沢山の篠竹に紛れているので両方を刈り取って、1時間半ほどで整備完了しました。隣地際のコナラの大木2本がカシナガ食害に遭っていました。

〈No. 828 南 浩治 春日部市〉



■11月16日(土)～17日(日) 熊谷市彩の国くまがやドーム「農林業ドリームフェスタ」



ドリームフェスタに参加しました！くるみ工房の作品展示即売会に、クリスマスツリーやリース作りのワークショップもあり、じっくりと話を聞いてくださる方、楽しそうに作品作りをする子どもたちなどなど、お客さんの足はひっきりなしの大盛況！ワークショップは待ち人が出るほどの人気で、サポータークラブの活動アピールもたくさんできたと思います。おかげ様で、くるみ工房から事務局へ28,470円を寄付する運びとなりました。私は日曜日のみ参加でしたが、両日とも少数精鋭のスタッフにて設営から接客まで休みなく行い、本当にお疲れ様でした！

〈No. 817 野原香澄 鴻巣市〉

■11月23日（土）さいたま市「浄国寺」

浄国寺は岩槻藩主の墓所もある古刹で、本堂の裏手の森は市街地には珍しいほどの大樹が茂っている。11名参加の活動は主に除草とつる切り。烏瓜や藤などのつる植物が絡みついて、元の樹形がわからないほど生い茂っている。それを鎌で切り、手で取り除く。地味で時間のかかる作業だ。また市街地なので、ご近所様との兼ね合いも重要。切り過ぎてもいけないし、残し過ぎてもだめ。骨休めはご住職の差し入れの岩槻田中屋の最中。次回には、植樹した椿とどうだんつつじが草に負けないほど育っていることだろう。〈No. 782 宇都宮裕子 さいたま市〉



緑の森活動（入間市 緑の森博物館）

■9月22日（日）雨天のため活動中止

■10月27日（日）下草刈り動力参加者7名、手作業参加者4名の計11名。 写真 互いの距離を測り、刈払い進める



■11月24日（日）下草刈り 動力参加5名、手作業参加4名、計9名の参加。本年最後の活動で、当クラブの看板が設置されている20周年記念植樹地の「雑木林広場」周辺で下草刈りを行った。

写真 植樹記念看板のまえて集合写真



〈緑の森博物館担当 No. 768 武藤光盛 所沢市〉

越生ふれあいの里山活動（越生町）

■12月8日（日）虚空蔵尊 ボランティア小屋 奥植栽地ネット除去

今冬、一番の寒い朝10名のクラブ員参加ししばらく手の着けられていないエリアで活動。皆さんの奮闘により半分以上片付き、あと1回の作業で終了出来そうです。寒い朝も動き始めれば汗ばむほどに、昼食のころには暑いぐらいの好天に越生の山も色づき気持ちのいい帰り道となりました。



〈越生ふれあいの里山担当 No.784 平井崇詞 狭山市〉

ときがわの森活動（ときがわ町）

■10月6日（日）活動中止

■11月3日（日）活動中止

両日とも、前日夜半まで雨。当日ずぶ濡れになること必至の為、中止としました。

■12月1日（日）参加者11名

事前案内していた林道の倒木は、ときがわ町で処理して頂いていました。活動は、動力エントリーの方々も全員で枝打ち。枝打ちは、最初の30分～1時間は「よしヤルゾ！」という意気込みで始めても、そのうち作業の単調さに段々飽きてくる作業だと思います。昨年の秋ぐらいから急に枝打ち作業の参加者が少なくなり、間伐に比べ遅れ気味でした。こういう作業は大勢で、それぞれのペースで取り掛かって、“みんなでヤッタ感”を味わえることが一番だ！と思いました。枝打ちをやった後の場所は、凄くスッキリしたと思います。参加された方々はどう思われたのでしょうか。年明けて、動力エントリーの方々も間伐→枝打ち→間伐の繰り返しをお願いします。〈ときがわの森担当 No. 790 山根義之 朝霞市〉



会員発言

1975年4月に林学科に入学しました。当時、林学は漠然と木を育てる学問だと思っていました。一般教養の講義はいろいろな分野の学問について、森林・林業の講義は概論だけでしたが、ふと、私はこれから何をしようとしているか疑問に思い、最初に読んだ本は「生態学への招待シリーズ」の「森の生態」（共立出版・只木良也著）でした。このシリーズは「人間は他の生物に比して環境からの独立性が格段に大きいとはいえ、環境に依存して生活している面が圧倒的に多い。さらに生物資源を含む物質の莫大な消費に支えられている現代社会を考えると生態学的見解は、人類の存続・福祉に不可欠といえよう。」を主旨に書かれたようです。それから50年、森林について学び、森林からいろいろ学ばせていただきました。環境の改善に少しは役立ったのか考える今日このごろです。

〈No. 719 玉熊英一 さいたま市〉

シリーズ 薪ストーブの魅力と暮らし

第47話『灰』

薪を燃やすと灰になりますが、同じボリュームなら針葉樹の薪より広葉樹の薪の方が多くの灰が出ます。ウチの薪ストーブですと、広葉樹の薪をフルに燃やすと3～4日でストーブの中に目一杯の灰が溜まり、溜まった灰は家庭菜園の畑に肥料として撒いて使っています。他に広葉樹の灰は、アク抜き、陶芸、融雪剤などの使い道もあります。処分されるような木を薪に使い、出た灰も有効に使い、後には何も残らない、完ぺきではないでしょうか！？

街中などで灰の使いようが無く燃焼灰をゴミとして出す場合は、市町村によって対応はまちまちで「ゴミとして出せない」「通常の可燃ごみでは出せないが地域のゴミ処理センターへ持込であれば出せる」「少量であれば水に浸して袋に閉じて通常の可ごみで出せる」など違いがあるようです。はっきりした理由はよくわかりませんが。

〈No. 30 木島 浩 寄居町〉



森林の雑学

—海の魚と鉄そして森林—

世界の豊かな漁場といわれるのは、北東大西洋海域（北海）、北西大西洋海域（カナダ東海岸）、南西大西洋海域（アルゼンチン沖）、北西太平洋海域（オホーツク海・ベーリング海）で、大陸棚、海流、湧昇流（海底から海面への流れ）などが条件とされています。しかし地図を見てみるといずれの海域も大きな河川が流れ込んでいることが分かります。太平洋の真中は良い漁場では無いのです。南極海では植物プランクトンが繁殖するための、窒素、リン、カリウムなどの栄養塩は多量に存在していますが、鉄が不足していると考えられるため植物プランクトンの基礎生産に制約を受けています。そのため南極海に鉄を散布して植物プランクトンを増殖させる実験（鯨の調査）を行ったところ、実験を始めてから2日目あたりから鉄を加えた方の葉緑素の濃度は、加えない方の3.5倍にまで増えていました。鉄を加えることにより、植物プランクトンの増殖が促進されたのです。植物プランクトンも葉緑素を生成するためには鉄が必要不可欠な物質なのです。

それでは、海の中の鉄はどこから供給されるのでしょうか？沿岸域においては河川から供給され、また外洋域では大気から供給されていると考えられています。しかしながら植物プランクトンは鉄をそのまま吸収することはできず、鉄イオンや森林で生成されるフルボ酸鉄の状態しか吸収できません、さらに鉄イオンは河川や海などで酸素に触れると粒子になってしまいますが、フルボ酸鉄は酸化されず水に溶けたままです。酸素は大きな分子で、鉄と結合するとさらに大きな分子になります。分子が大きくなると植物の細胞膜で吸収、通過できないのです。海には酸素が沢山ありますが、フルボ酸鉄の状態になると酸化されないのです。

〈No. 660 小室正人 さいたま市〉



「世界の漁場と河川」

◇埼玉県信用農業協同組合連合会(JAバンク・坂本富雄会長)から御寄附20万円を9月19日に県連の応接室においていただきました。本会の活動に有効使わせていただきたいと思います。誠に有難うございました。

◇「彩の国食と農林業ドリームフェスタ」が11月16日～17日に熊谷スポーツ文化公園で開催されました。くろみ小屋で活動を行っている皆さんを中心に、展示や木にまつわる材料で作った作品を販売しました。28,470円をサポートクラブに寄付していただきました。有難うございました。

◇刈払機の講習会の開催

当会会員を対象に刈払機取扱作業者の安全衛生教育を2月9日(日)に行います。受講を希望する方は事務局までご連絡ください。受講料は5千円を予定しています。

◇会費及び動力保険納入のお願い

令和6年度会費納入をお済みでない方は、郵便振込をお願いします。また、来年7年度動力保険に加入される方は今年度内に手続きしますので2月末日までに振込をお願いします。なお7年度から新たに動力保険されたい方は事務局に御連絡の上振込みをお願いします。

口座番号 00120=2=407239

加入者名 NPO法人埼玉森林サポータークラブ
年会費 3千円 動力保険:2千円

【森の話 森林の水源涵養機能】

森林の水源涵養機能は、洪水・渇水の緩和という流量調節と水質浄化をいいます。

自然のダムである全国に見られる湖の周辺には湖を囲むように山々が連なり湖に絶え間なく水を供給しています。北海道の摩周湖の様に流入・流出する河川がない湖としても知られ、摩周岳などに降る雨や雪が地下水脈を築き上げ、バイカル湖に次ぐ透明度に秀でたきれいな水を蓄えています。また、東北を代表する十和田湖も同様に八甲田山からの雨や雪を蓄え奥入瀬川から流出させています。富士山には富士五湖があり同様です。そして、東京の人造湖である奥多摩湖では上流の山々を水源林として東京都水道局が管理しています。このように、森林と湖は切っても切れない繋がりをもっています。

さて、水源涵養機能については少し詳しく説明すると、森林に降り注ぐ雨や雪は、樹木の枝葉の生い茂る部分である樹冠や幹に付着するものと、樹冠や幹に付着せずに森林内の地表(林床)に到達する「樹冠通過雨」に分かれます。

樹冠と幹に付着した降水は、そのまま蒸発する「樹冠遮断蒸発」、樹冠を通じて流れ林床に届く「樹幹流」、樹冠から雨滴として林床に落ちる「樹冠滴下雨」の3つに分かれます。樹冠通過雨と樹冠滴下雨を合わせたものを「林内雨」と呼び、地表を流れるものと、地下にしみ込むものに分かれます。

林内雨及び樹幹流として林床に到達した降雨は、森林が健全な状態であれば、多くが森林土壌へ浸透します。森林土壌へしみ込んだ水の一部は、樹木や下草の根から吸収され、植物の成長に用いられます。地下にしみ込んだ水は地中にゆっくりと浸透し、下流の河川に注がれます。その一部は岩盤まで浸透することで、より長い期間貯留されます。こうした水の動きには、森林土壌の存在が不可欠です。しみ込んだ

また、木の葉や枝は、降雨による雨水が地上に落ちる速さを弱める働きがあり、地表の落ち葉や下草は、雨水が落下した衝撃をやわらげるとともに、地表面を流れる水を減少させ、土壌の侵食を防いでいます。

このように、森林に降った雨や雪は、一部は地中にしみ込み、また一部はゆっくりと地表を流れることにより、洪水の緩和や河川の流量を安定させたり、水質を浄化させるなど働きをしています。洪水を完全に止めることができないので緩和という言葉を使っています。

さて、人間の営みには農業があります。洪水は農作物に被害も与えますが豊かな土壌を供給することも知られています。武田信玄が考案したと言われる霞堤(信玄堤)は、洪水の時河川の流れを逆流させ農地に水を引き込み本流の水量を減少させ、水位が低下した時に本流に水が戻るといった水量の調整機能を持っています。洪水後には豊かな土壌が農地に残ります。

洪水は人命をも奪う甚大な被害を引き起こしますし、渇水にも備えなければなりませんので、ダムや堤防の整備が必要ですが、森林整備も同時に進め自然の力も借りながらバランス良く治水を進めていきたいものです。

〈No. 719 玉熊英一 さいたま市〉

編集後記

1997年入会しました。初参加は狭山市の赤坂の森(除伐作業)でした。1999年より活動も増えはじめ。2000年には年約80回程の活動があったかと思えます。この年深みにはまり27年目の活動中です。目標は30年間。80歳。宜しくお付き合い願います。(No. 101 北村 博 春日部市)

活動スケジュール (2025年1月・2月・3月・4月)

月 日	曜日	フィールド	活動内容	集合場所
1月3日	金	くるみ小屋	安全祈願ほか	神川町上阿久原 くるみ小屋
1月4日	土	緑の森博物館	安全祈願ほか	所沢市糞谷78 糞谷八幡神社
1月11日	土	笠幡の森	笹刈り:手) 枝条整理、機) 笹刈り	川越市笠幡1953 林内通路脇
1月12日	日	越生ふれあいの里山	安全祈願・見回りほか	虚空蔵尊 越生町上野2260先を右折 さくら公園駐車場
1月15日	水	越生町	梅園小支援(間伐)	越生町立越生中学校駐車場
1月19日	日	くるみ小屋	つる切・除伐:手)、機)共	神川町上阿久原 くるみ小屋
1月25日	土	江戸屋弘東園	落ち葉掃き	三芳町上富1388-3 江戸屋弘東園駐車場
1月28日	火	越生町	(予備日)梅園小支援	越生町立越生中学校駐車場
2月9日	日	越生ふれあいの里山	間伐・除伐:手)、機)共	虚空蔵尊 越生町上野2260先を右折 さくら公園駐車場
2月16日	日	くるみ小屋	除伐:手)、機)共	神川町上阿久原 くるみ小屋
2月23日	日	緑の森博物館	林内整備:手)、機)共	入間市宮寺889-1 緑の森博物館
2月24日	土	寄居風布の森	間伐:手)、機)共	林道葉原峠線防火水槽脇の広場
3月1日	土	さいたま市	理事会	さいたま市大宮区 宇宙劇場
3月2日	日	ときがわの森	手)枝打ち、機)間伐	ときがわ町西平 越瀬橋 手前 左側
3月9日	日	越生ふれあいの里山	間伐・除伐:手)、機)共	虚空蔵尊 越生町上野2260先を右折 さくら公園駐車場
3月15日	土	笠幡の森	笹刈り:手) 枝条整理、機) 笹刈り	川越市笠幡1953 林内通路脇
3月16日	日	くるみ小屋	除伐:手)、機)共	神川町上阿久原 くるみ小屋
3月20日	木	ときがわの森	手)枝打ち、機)間伐	ときがわ町西平 越瀬橋 手前 左側
3月22日	土	寄居風布の森	間伐:手)、機)共	林道葉原峠線防火水槽脇の広場
3月23日	日	緑の森博物館	林内整備:手)、機)共	入間市宮寺889-1 緑の森博物館
3月30日	日	黒山の森	除伐:手)、機)共	越生町黒山771
4月6日	日	ときがわの森	間伐、枝打:手)、機)共	ときがわ町西平 越瀬橋 手前 左側
4月13日	日	越生ふれあいの里山	間伐・除伐:手)、機)共	虚空蔵尊 越生町上野2260先を右折 さくら公園駐車場
4月19日	土	寄居風布の森	間伐:手)、機)共	林道葉原峠線防火水槽脇の広場
4月20日	日	くるみ小屋	除伐:手)、機)共	神川町上阿久原 くるみ小屋
4月27日	日	緑の森博物館	下草刈り:手)、機)共	入間市宮寺889-1 緑の森博物館

※活動予定は、中止や変更することがあります。その節は一斉メールにてお知らせいたします。締め切り後に参加する時や、申込んだが当日欠席する時は事務局まで連絡を！直前の当日欠席は世話役まで連絡を！

※集合時間は8時30分です。支度をして集合して下さい。

拠点フィールドのご案内

■ときがわの森 (ときがわ町)

毎月第1日曜日活動 (担当: 山根義之・岡田豊国)

■越生ふれあいの里山 (越生町)

毎月第2日曜日活動 (担当: 平井崇詞・鈴木久代・樽石亜由美・菊池修一郎)

■緑の森博物館 (入間市)

毎月第4日曜日活動 (担当: 武藤光盛・岡田 了)

埼玉森林サポータークラブ・コミュニケーション・ニュース 2025年1月1日発行 (年4回発行)

■発行: 特定非営利活動法人 (NPO法人)
埼玉森林サポータークラブ

■発行責任者: 霜触 賢 ■編集リーダー: 沢田 正

■編集スタッフ: 木島 浩・北村 博・梶田 力・小室 正人・利根川雅実・香取由美・樽石亜由美・菅家征史・小坂博美・伊東喜尋・片野健一・菅谷 榮・岡田豊国・平井崇詞・藤井俊文・玉熊英一

■事務局: 〒330-0063埼玉県さいたま市浦和区高砂3-12-9 農林会館B1 TEL. 048-814-2770

<事務局開設日: 月・水・金> 10時~15時

■事務局メールアドレス

info@shinrin-supporter.org

■ホームページアドレス

http://www.shinrin-supporter.org/